

## 「ほうとうの日」に合わせ ほうとうを無料配布

「たべるじゃん//ほうとう推進協議会」(長澤重俊会長)は、「ほうとうの日」に合わせ、ほうとうの無料配布イベントを行った。

同協議会は山梨県の郷土食である「ほうとう」の製造を行う山梨県製麺協同組合(八代善雄理事長)の組合員やその関連商品を扱う事業者約50社で構成された団体である。

『ほう(4(=フォー))とう(10)』と読む語呂合わせから、ほうとうの美味しさをより多くの人に知ってもらい、消費の拡大を図ることを目的に平成29年に4月10日を「ほうとうの日」と制定し、一般社団法人日本記念日協会により認定・登録された。

毎年4月の「ほうとうの日」にあわせ様々なPR活動を行ってきたが、新型コロナウイルスの感染拡大により2年間中止していた。しかし今年は2年ぶりに復活し、甲府市内2箇所ではほうとうの無料配布を行った。

4月3日(日)はあいにくの天気であったが、ヴァン



応援に駆けつけたヴァンくん

## たべるじゃん//ほうとう推進協議会 山梨県製麺協同組合

フォーレ甲府の試合に合わせ小瀬の試合会場で約700袋、4月10日(日)は甲府駅で約500袋のほうとうを配付。イベント会場にはヴァンフォーレ



甲府駅前にてほうとう配布

甲府のマスコットキャラクターであり、同協議会の特別名誉会員でもある「ヴァンくん」も駆けつけPRを行った。会場は盛況で賑わいを見せ、多くの人にほうとうの魅力を伝えることができた。

ほうとうは戦国時代の武将・武田信玄が自分の刀で食材を切ったことから「宝刀」(ほうとう)と名付けられたという俗説がある。かつては山梨県内の各家庭で毎晩のように食べられていたが、食生活の変化や核家族化により若い世代を中心に食べる機会が減ってきている。

同協議会は、食文化の伝承とほうとうの復権を目指してほうとうの歌をつくったり、企業や学校給食のメニューとして出してもらおうと呼びかけるなど続々と企画を打ち出しており、今後も継続して推進活動に力を入れていく。

